

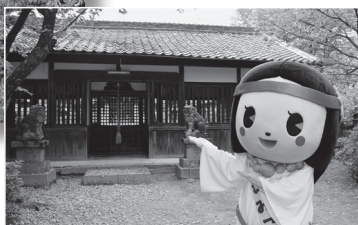
ひみこちゃんが 「大和さくらい100選」 一度は行ってみたいスポットを紹介 - その25 -



今回は、「大和さくらい100選」の「記紀万葉ゆかりの地」に選ばれているいわれ地域の宮周辺を紹介するよ！



←↓池之内にある
稚桜神社



小高い森の上にのぼると、
立派な社殿があるよ！

稚桜神社は安倍文殊院の西南方向にあたる池之内にあります。「延喜式」神名帳、城上郡内に若桜神社があり、「磐余稚桜宮」が池之内付近だとする説があります。この「磐余稚桜宮」は履中天皇の宮とされ、桜井市谷の若桜神社とこの磐余稚桜神社の二つが伝承地となっています。

ももづたふ磐余の池に鳴く鴨を
今日のみに見てや
雲隠りなむ
——大津皇子 万葉集卷三十四一六



「ひみこちゃんのページ」

<http://www.city.sakurai.lg.jp/himiko/index.html>

観光まちづくり課

(☎ 42 - 9111 内線 342)

twitter @himiko__chan

磐余玉穂宮の伝承地は池之内の稚桜神社からおよそ300メートル西南にあります。ここは継体天皇の宮だったとされています。継体天皇は応神天皇五世の孫彦大人王の子で母親は振媛です。皇后は手白香皇女であり、欽明天皇はこの二人の子どもにあたります。現地は、北は耳成山、西にはすぐ香具山があり、さらにやや離れて畝傍山が望めます。北東に三輪山が背景をなして景勝の地でもあります。



磐余玉穂宮伝承地

この歌は大津皇子が死を賜った時に磐余池の堤で涙を流して作られたとされ、皇子の辞世の歌といわれています。無実の罪を負いながら飛鳥浄御原宮から磐余池の堤をとって、訳語田舎に連行される途中、池のほとりで歌を作ったのではないかと推測されています。

この歌の歌碑は、春日神社（吉備）の南にある、吉備池の堤に建っています。

